

[過去3年間の入学試験問題の概要]

	令和5年度入学者選抜	令和6年度入学者選抜	令和7年度入学者選抜
公募推薦 (小論文)	● 次の文章は、やなせたかし著『アンパンマンの遺書』の「幼児という批評家」の一節である。傍線部について著者の考える「幼児(子ども)」像をふまえ、あなたの考える幼児像について、600字以内で論述しなさい。(60分)	● 次の文章は、養老孟司氏と『ケーキの切れない非行少年たち』の著者で児童精神科医の宮口幸治氏との対談記録の一部である。傍線部の宮口氏の意見について、あなたはどのように考えますか。具体的な根拠を挙げて、600字以内で論述しなさい。(60分) 『子どもが心配 人として大事な三つの力』(養老孟司)	● 次は、「『なまはげ』が教えてくれる大切なこと」という表題の文章である。この文章にある「なまはげ」が示す「外界との関係の取り方」について、あなたの体験を踏まえて600字以内で論述しなさい。(60分) 『「叱らない」が子どもを苦しめる』(藪下遊、高坂康雅)
一般Ⅰ期 (国語総合)	● 読解総合問題2題(小説と評論、評論は指示された課題について300字以内で論述する問いを含む)(60分) 『舟を編む』(三浦しおん)、『教えから学びへ』(汐見稔幸)	● 読解総合問題2題(小説と評論、評論は指示された課題について300字以内で論述する問いを含む)(60分) 『宇宙のみなしご』(森絵都)、『大人のための児童文学講座』(ひこ・田中)	● 読解総合問題2題(小説と評論、評論は指示された課題について300字以内で論述する問いを含む)(60分) 『はなの街オペラ』(森川成美)、『ことば、身体、学び』(為末大、今井むつみ)
一般Ⅱ期 (国語総合)	● 読解総合問題2題(小説と評論、評論は指示された課題について300字以内で論述する問いを含む)(60分) 『のんのんばあとオレ』(水木しげる)、『「子どもの目」からの発想』(河合隼雄)	● 読解総合問題2題(小説と評論、評論は指示された課題について300字以内で論述する問いを含む)(60分) 『リボンの男』(山崎ナオコーラ)、『赤ちゃんと脳科学』(小西行郎)	● 読解総合問題2題(小説と評論、評論は指示された課題について300字以内で論述する問いを含む)(60分) 『気持ちにそぐう言葉たち』(金田一秀穂)、『読む力は生きる力』(脇 明子)
社会人Ⅰ期 (小論文)	● 文中傍線部という大学での「学問」とは、どういう行為でなければならないと筆者はいつていますか。文中の表現を参考にして100字以内で述べなさい。 ● 筆者は、「発見」することについて様々な視点から述べています。これらを踏まえて、あなたは大学で「保育」に関連してどのようなことを「発見」したいと考えますか。考える理由も含めて500字程度で述べなさい。(設問2題60分) 『知の技法』「レトリック—Madonnaの発見、そしてその彼方」(松浦寿輝)	● 次の文章は、小児科医で評論家でもある松田道雄氏の『子どものものさし』の一節である。傍線部について、筆者の考えを踏まえて、これまでの経験を振り返りながら、あなたの考えを600字以内で述べなさい。(60分) 『子どものものさし』(松田道雄)	● 傍線部の筆者の考えを踏まえて、あなたが今まで身近な大人(親などの家族や保育者、学校の教員など)から受けた「しつけ」を、今はどう考えているかについて、エピソードをもとにしながら600字以内で述べなさい。 『幼児期—子どもは世界をどうつかむか—』(岡本夏木)